

山火事の焼け跡に立ち入る前に

心得ておくことは

ピクニックやハイキングの目的で立ち入ることは本質的に危険です。焼けて間もない区域は特に特に危険性をはらんでいます。ゴージ地域の急斜面はもっと危険な場所です。



危険というのは：

焼けてしまった木が倒れてくる
立ち木から枝が落ちてくる
木の根元に空洞がえぐられている
山道の上に木が倒れて、道が分からなくなっている
木の根が焼けたので地面がゆるんでいる
ゆるんだ斜面を岩石が転がり落ちてくる
がれきが押し寄せてくる
地すべりが起こる

どういふ場合に立ち入りを避けるべきか：

強風や突発的な強風予報が出ている場合は、焼け跡に入らない。
焼け跡にいるあいだに風が強くなってきたら、直ちに立ち退くこと、
道しるべが無くなっていて、心配になってきたら、無理に進まないこと。
必要とあれば、ためらわずに立ち退く。
特に冬や暴風雨中に立ち入る場合は、地すべりの危険性が高くなることを忘れないように。
休憩設備の現状を把握していない場合は、あらかじめ確認してから行くこと。

油断は絶対禁物です。



あなたの安全はあなたの責任です。

絶えず、頭上に危険物が無いか、視線を上げて見回す。

木が倒れたり、大枝や岩石が落ちてくる音がしないか、耳をそばだてる。

川が急に増水して来ないか、注意を怠らない。

はっきり分かる山道だけをたどる。

風が強くなったら直ちに引き返す。

立ち入り禁止区域には入らない。

